

1) 過去問題を丁寧に学習していこう！

【111 AM 47】

脳血管造影を行う患者の看護について適切なのはどれか。

1. 前日に頭部の剃毛を行う。
2. 検査中は患者に話しかけない。
3. 穿刺部末梢側の動脈の拍動を確認する。
4. 検査 30 分前まで食事摂取が可能である。

【111 AM 49】

幻肢痛について正しいのはどれか。

1. 術前から発症する。
2. 抗うつ薬は禁忌である。
3. 細菌感染が原因である。
4. 切断し喪失した部位に生じる。

【110 PM 46】成人患者の甲状腺全摘出術後における合併症とその症状の組合せで適切なのはどれか。

1. 乳び漏 ————— 嘔 気
2. 術後出血 ————— ドレーン排液の白濁
3. 反回神経麻痺 ———— 口唇のしびれ
4. 低カルシウム血症 —— テタニー

【109 AM 83】食道癌で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 女性に多い。
2. 日本では腺癌が多い。
3. 放射線感受性は低い。
4. 飲酒は危険因子である。
5. 胸部中部食道に好発する。

【109 AM 84】急性膵炎で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 成因はアルコール性より胆石性が多い。
2. 重症度判定には造影 CT が重要である。
3. 血中アミラーゼ値が低下する。
4. 鎮痛薬の投与は禁忌である。
5. 初発症状は上腹部痛である。

【108 PM 85】 前立腺肥大症で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 進行すると水腎症となる。
2. 外科治療は経尿道的前立腺切除術を行う。
3. 直腸診で石の様な硬さの前立腺を触知する。
4. 前立腺を縮小させるために男性ホルモン薬を用いる。
5. 前立腺特異抗原 (PSA) 値が 100ng/mL 以上となる。

【108 PM 84】 アナフィラキシーショックで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 徐脈になる。
2. 重症例では死に至る。
3. 気道粘膜の浮腫を生じる。
4. III型アレルギー反応である。
5. 副腎皮質ステロイドは禁忌である。

【108 PM 28】 開心術後の心タンポナーデで正しいのはどれか。

1. 徐脈
2. 心音増強
3. 心拍出量の増加
4. 中心静脈圧の上昇

【107 PM 87】 下部尿路症状のうち蓄尿症状はどれか。2つ選べ。

1. 尿失禁
2. 残尿感
3. 腹圧排尿
4. 尿線途絶
5. 尿意切迫感

【107 PM 28】 呼吸不全について正しいのはどれか。

1. 喘息の重積発作によって慢性呼吸不全になる。
2. 動脈血酸素分圧 (PaO₂) で2つの型に分類される。
3. 動脈血二酸化炭素分圧 (PaCO₂) が 60mmHg 以下をいう。
4. Hugh-Jones (ヒュー・ジョーンズ) 分類は呼吸困難の程度を表す。

【106 AM 82】 潰瘍性大腸炎の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 遺伝性である。
2. 直腸に好発する。
3. 縦走潰瘍が特徴である。
4. 大腸癌の危険因子である。
5. 大量の水様性下痢が特徴である。

【106 AM 46】疾患と原因となる生活習慣の組合せで適切なのはどれか。

1. 低血圧症 ————— 飲酒
2. 心筋梗塞 ————— 長時間労働
3. 悪性中皮腫 ————— 喫煙
4. 1型糖尿病 ————— 過食

【106 AM 52】ホルモン負荷試験について正しいのはどれか。

1. ホルモン分泌異常を生じている部位の推定に用いる。
2. 分泌異常が疑われるホルモンを投与する。
3. 前日の夕食から禁食にする。
4. 入院が必要である。

2) 代表的な疾患の生活指導は、ガイドラインを参考にしたい。

【110 PM 45】脂質異常症の成人患者に対する食事指導の内容で正しいのはどれか。

1. 不飽和脂肪酸の摂りすぎに注意する。
2. コレステロール摂取量は1日600mg未満とする。
3. 高トリグリセリド決勝では、アルコールを制限する。
4. 高LDLコレステロール血症では、トランス脂肪酸の摂取を促す。

【108 PM 46】慢性副鼻腔炎の手術を受けた患者に対する説明で適切なのはどれか。

1. 咽頭にたまった分泌物は飲んでも良い。
2. 臥床時は頭部を低く保つ。
3. 手術当日から入浴が可能である。
4. 物が二重に見えるときは看護師に伝える。

【104 PM 53】Aさん(42歳、男性、会社員)は、1人で暮らしている。毎日、たばこを20本吸い、缶ビールを3本飲んでた。Aさんは週末にラグビーをした後、帰りに焼肉を食べるのを楽しみにしている。高尿酸血症で治療を受けることになり、尿酸排泄促進薬が処方された。缶ビールを1本に減らしたが、尿酸値が高い状態が続いている。身長172cm、体重67kg。その他の血液検査データに異常はない。

Aさんへの生活指導で最も適切なのはどれか。

1. 禁煙
2. 体重の減量
3. 過度な運動の回避
4. 蛋白質摂取の禁止

【104 PM 54】Raynaud〈レイノー〉現象のある患者への指導で正しいのはどれか。

1. 頻繁に含嗽をする。
2. 日傘で紫外線を防止する。
3. 洗顔のときは温水を使用する。
4. 筋力を維持するトレーニングを行う。

【105 AM 87】Aさん(35歳、女性、会社員)は、動悸、手指の震え及び体重減少があり、受診したところ、頻脈と眼球突出とを指摘され抗甲状腺薬の内服を開始した。Aさんは看護師に「仕事のストレスは寝る前にビールを飲むことで解消するようにしているが、ちょっとしたことでイライラして眠れない」と話した。

Aさんへの説明で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 「仕事を休みましょう」
2. 「禁酒する必要があります」
3. 「積極的に運動しましょう」
4. 「発熱したときは受診してください」
5. 「病気が原因でイライラしやすくなります」

【105 PM 80】関節リウマチで療養している人への日常生活指導で適切なのはどれか。

1. 床に座って靴下を履く。
2. 2階にある部屋を寝室にする。
3. 水道の蛇口をレバー式にする。
4. ボタンで着脱する衣服を選択する。
5. 寝具はやわらかいマットレスにする。

3) 状況設定問題は、検査データの解析が重要！

【104 AM 91】 Aさん（54歳、男性）は、10年前に心筋梗塞を発症し、2年前に慢性心不全と診断され外来受診を続けてきた。1週間前からトイレ歩行時に息苦しさがあり、4日前から夜に咳と痰とがみられ眠れなくなっていた。本日、Aさんは定期受診のため来院し、心不全の増悪と診断され入院した。入院時、体温 36.3℃、呼吸数 24/分、脈拍 96/分、整で、血圧 124/72mmHg であった。心エコー検査で左室の駆出率 28%であった。体重は1週間で 4kg 増加し下肢の浮腫がみられる。

問題 このときの A さんのアセスメントで適切なのはどれか。

1. ショック状態の可能性が高い。
2. 左心不全の症状はみられない。
3. NYHA 心機能分類の I 度に該当する。
4. 浮腫は右心不全の症状によると考えられる。

【105 AM 91】 Aさん（64歳、女性）、慢性閉塞性肺疾患で通院加療中である。1週間前から感冒様症状があり市販薬を服用し経過をみていたが、呼吸困難を訴えた後、反応が鈍くなり救急車で搬送された。Aさんは肩呼吸をしており、発汗が著明で口唇は乾燥している。体温 38.3℃、呼吸数 35/分、脈拍 108/分、血圧 96/70mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO₂) 89%であった。ジャパン・コーマ・スケール (JCS) II-30。動脈血液ガス分析では動脈血酸素分圧 (PaO₂) 60Torr、動脈血炭酸ガス分圧 (PaCO₂) 68Torr、pH7.29 であった。

問題 この時点での A さんのアセスメントで誤っているのはどれか。

1. 脱水である。
2. 意識障害がある。
3. アシドーシスである。
4. ショック状態である。

【105 PM 91】 Aさん（28歳、女性、会社員）は、夫と1歳の娘との3人で暮らしている。25歳のときに潰瘍性大腸炎と診断され、内服治療を続けてきた。Aさんは27歳で出産後、職場に復帰していたが3か月前から排便回数が増え、便に血液が混入するようになった。1週間前から下痢が1日8~10回あり、腹痛や発熱もみられ、外来受診したところ、潰瘍性大腸炎の再燃のため入院することになった。身長 158.2cm、体重 40.2kg。体温 38.3℃、脈拍 92/分、血圧 108/76mmHg であった。血液検査データは、赤血球 340 万/μL、白血球 9,800/μL、Hb7.8g/dL、アルブミン 2.5g/dL、CRP5.5mg/dL。

問題 A さんの状態のアセスメントで適切なのはどれか。

1. BMI による肥満度の判定基準では普通体重に該当する。
2. 貧血は心不全の徴候を示している。
3. 浮腫が出現する可能性がある。
4. 脱水に陥る可能性は低い。

【106 AM 91】A さん（53 歳、男性、会社員）は、1 週前から倦怠感が強く、尿が濃くなり、眼の黄染もみられたため、近くの医療機関を受診し黄疸と診断された。総合病院の消化器内科を紹介され受診した。時々、便が黒いことはあったが、腹痛はなかった。既往歴に特記すべきことはない。来院時のバイタルサインは、体温 36.8℃、脈拍 68/分、血圧 134/82mmHg であった。血液検査データは、アルブミン 4.2g/dL、AST<GOT>69IU/L、ALT<GPT>72IU/L、総ビリルビン 14.6mg/dL、直接ビリルビン 12.5mg/dL、アミラーゼ 45IU/L、Fe27 μ g/dL、尿素窒素 16.5mg/dL、クレアチニン 0.78mg/dL、白血球 9,200/ μ L、Hb11.2g/dL、血小板 23 万/ μ L、CRP2.8mg/dL であった。

問題 A さんのアセスメントで正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 脱水がある。
2. 閉塞性黄疸である。
3. 膵炎を発症している。
4. 急性腎不全を発症している。
5. 鉄欠乏性貧血の可能性がある。

【108 PM 91】 A さん（52 歳、男性）は、5 年前に C 型肝炎、肝硬変と診断され、1 回の入院歴がある。退院後、医療機関への受診を中断し 3 年が経過している。毎日、ウイスキーを約 300mL 飲んでいる。夕食の 2 時間後に約 1,100mL の吐血があり、緊急入院となった。

身体所見：体温 35.4℃、呼吸数 26/分、脈拍 122/分、血圧 86/42mmHg、顔面は蒼白、冷汗を認める。

意識は清明だが不安げな表情をしている。

検査所見：赤血球 278 万/ μ L、Hb8.4g/dL、総ビリルビン 4.1mg/dL、アンモニア 188 μ g/dL、K3.9mEq/L、血糖 102mg/dL。

問題 入院時の A さんの状態として考えられるのはどれか。

1. 急性アルコール中毒
2. 食道静脈瘤破裂
3. 迷走神経反射
4. 低血糖発作

【109 PM 94】 Aさん（56歳、女性、会社員）は、夕食の1時間後から腹痛・嘔吐が出現し救急外来を受診した。2か月前から自然に消失する右季肋部痛を繰り返していた。

身体所見：身長 155cm、体重 82kg。体温 38.2℃、呼吸数 16/分、脈拍 110/分、血圧 126/70mmHg。

眼球結膜に黄染あり。右季肋部に圧痛あり。意識清明。

検査所見：白血球 14,960/ μ L、Hb12.8g/dL。総ビリルビン 8.7mg/dL、直接ビリルビン 7.2mg/dL、アミラーゼ 121IU/L、リパーゼ 45IU/L、尿素窒素 18.9mg/dL、血清クレアチニン 0.98mg/dL。CRP9.2mg/dL。

腹部超音波検査所見：胆嚢壁の肥厚、胆嚢の腫大、総胆管の拡張、総胆管結石を認めた。

問題 Aさんの病態で正しいのはどれか。

1. 急性胃炎
2. 急性腎不全
3. 閉塞性黄疸
4. 溶血性貧血

【111 PM 92】

Aさん（50歳、男性、会社員）は半年ほど前から労作時に胸痛と呼吸困難感があり、狭心症と診断され内服治療を受けている。本日明け方から胸部に圧迫感があった。出勤途中に強い胸痛を自覚し、自ら救急車を要請した。救急外来到着時のバイタルサインは、体温 35.8℃、呼吸数 30/分、脈拍 112/分、血圧 96/52mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉93%（酸素 2L/分）。意識は清明。12誘導心電図はV1～V4でST上昇、Ⅱ、Ⅲ、aVFでST低下がみられた。

問題 心臓カテーテル検査の結果、Aさんは急性心筋梗塞と診断された。心係数 2.4L/分/m²、肺動脈楔入圧 20mmHgでForrester〈フォレスト〉分類Ⅱ群であった。

身体所見：両側下肺野で呼吸音が減弱しており、軽度の粗い断続性副雑音が聴取される。

心エコー検査：左室駆出率〈LVEF〉58%

胸部エックス線検査：心胸郭比〈CTR〉48%

このときのAさんのアセスメントで適切なのはどれか。

1. 心拡大が認められる。
2. 肺うっ血が起きている。
3. 末梢循環不全が起きている。
4. 左心室の収縮力が低下している。